Club Weekly Bulletin　　創立1997年(平成9年)3月27日

堺フェニックスロータリークラブ
SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

地区ガバナー	大澤 德平
会長	吉川 美幸
幹事	田辺 弘樹
会報委員長	細川 浩二

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号
TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991
例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場:ホテル第一堺
http://www.sakaiphoenix.com
rotary@sakaiphoenix.com

第713回例会

通巻681号

平成24年5月17日

2011～2012年度No. 41

本日の例会　（第713回例会）

2012年5月17日(木)18時30分
場所：ホテル第一堺
司　会　中井 昭宏 SAA

開会点鐘　吉川 美幸 会長
ロータリーソング斉唱「我等の生業」
お客様紹介　京谷 知明親睦委員長
会長の時間　吉川 美幸会長
出席報告　中井 崇嗣副 SAA
幹事報告　田辺 弘樹幹事
クラブフォーラム　国際大会報告会
SAA 報告　河野 強副 SAA
閉会点鐘　吉川 美幸会長

次回の例会予告　（第714回例会）

2012年5月24日(木)
卓話　「私の仕事」田中 範子会員
例会終了後、
宇瀬ガバナー補佐をお迎えして
２０１１-１２年度クラブ協議会

次々回の例会予告（第715回例会）

2012年5月31日(木)
卓話　「地域の介護」内藤 絵梨奈会員
例会終了後、
大仲次期ガバナー補佐をお迎えして
２０１２-２０１３年度クラブ協議会

5月各種お祝い

会員誕生日	米田 眞理子
ご家族誕生日	今野 元博様
会員記念日	石田 得子　田中 範子
	細川 浩二　今野 華
創立記念日	小野 晃範　酒井 誠

5月10日出席報告

在籍者	２８名	出席者	１５名
出席計算会員	２２名	欠席者	１２名
出席免除者	６名	免除出席者	１名
先々週修正出席率	73.0%	出席率	６１．５　%

5月17日理事会のご案内

17:30～　5月度理事役員会　2階リセスの間
17:40～　次年度理事役員会　1階喫茶

2011-12年度 RI会長　カルヤン・バネルジー(Kalyan Banerjee)
国際ロータリーテーマ　Reach Within to Embrace Humanity
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

例会の記録(第712回例会)

…… 5月10日……

[唱和]

Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」

国歌斉唱　オーストラリア　フィリピン共和国　日本

斉唱　ロータリーソング『奉仕の理想』

会長の時間　　会長　吉川 美幸

タイには、フェニックスロータリーから、総勢１９名で行って来ました。途中、体調を崩された方もおられましたが、無事帰ってまいりました。
私は、４泊５日（機中１泊）でしたが、あっと言う間でした。
出発する前日に、タイの天気予報を見ますと、滞在中、ずっと雨マークになっていましたので、少し暗い気持ちで行きましたが、２日目（５日）の日に、小学校の図書館の式典に行った時にスコールがあっただけで、後はずっと晴れていました。
今回、参加出来なかった方の分までバンコクとホアヒンを見てまいりました。来週の卓話の時間に、タイでの様子を、写真を交えて、詳しくご報告できると思いますが、現地に行って実際に、奉仕事業の完成をみる事が出来て、本当に行って良かったと思っています。
ただ、今回訪問のメインの奉仕事業をしたホアヒンは、バンコクからバスで、片道４時間余りかかりましたが、バスでの移動中も色々な方とお話が出来、有意義に過ごす事が出来ましたが皆さんお疲れだったのではとちょっと心配です。
タイ・ルンピ二ＲＣの前田さん、ニコンさんはじめ、ルンピ二ＲＣの方々のお蔭で、ホアヒンに立派な図書館の整備が出来ましたし、式典ではお坊さん（僧侶）が沢山来られていて、長い長いお祈りも経験しました。
その式典には他に、タイ国の政府高官や多くの方々が出席して下さいましたし、堺フェニックスＲＣからも今回の参加者全員が出席して下さいましたのでりっぱな式典になりました。
今回はＷＣＳで国際奉仕の予算を使いましたが、その予算以上の素晴らしい事業になったなと実感しました。
国際大会も短い時間ではありました参加できたので、雰囲気を味わえたのではないでしょうか。
私自身タイは初めてでしたので、食事の事もちょっと心配していましたが思いの他、タイに馴染む事ができたと、自分でもびっくりしています。
今回の奉仕事業、滞在に関しては、タイ・ルンピ二ＲＣの方々に感謝すると共に、日本に来られた時には、歓迎しないといけないなと思っていますので、その時は宜しくお願いします。
図書館の整備に関しても、タイ・ルンピニＲＣとの打ち合わせを含めて、大変な事だったと思います。今回の、ＷＣＳの事業が成功しましたのも、中野奉仕委員長はじめ、藤井寺しゅらＲＣ，泉南ＲＣ，Ｅクラブの方、色々な方に、お骨折り頂いたお蔭と感謝しています。
有難うございました。

米山記念奨学生　タピアミゲルさんに５月分奨学金授受

幹事報告　　幹事 田辺 弘樹

・RI 第 2640 地区 ローターアクト 2011-2012 年度 地区大会のご案内
日時 2012 年 6 月 10 日(日)登録開始 10:30 点鐘 11:00
終了 16:00 懇親会 17:00 場所 リーガロイヤルホテル堺
内容　今期の地区活動、クラブ活動報告、卒業生紹介
新旧役員交代
・地区ロータリー財団ポリオプラス小委員会から地区大会ポリオプラス寄付御礼
・　第 11 回日韓親善会議開催のお知らせ
開催日時 2012 年 8 月 31 日(金)～9 月 1 日(土)
開催場所グランド・プリンスホテル新高輪「飛天」の間
登録料２２，０００円
大会予定　特別講演：田中作次　様（予定）
基調講演：緒方貞子　様（予定）
8 月 31 日(金)登録 13:00～15:00 会議 15:00～17:00
感謝の集い(懇親会)17:30～19:30
9 月 1 日(金)登録 8:30～9:20 会議 9:20～15:05
特別講演、基調講演、震災援助プロジェクト事例発表等
例会変更のご案内
堺東南ＲＣ平成 24 年 5 月 24 日(木)→5 月 27 日(日)
場所：北野田駅前ロータリー花壇植栽奉仕活動
堺フラワーＲＣ平成 24 年 5 月 19 日（土）魚太郎　三国ヶ丘店
堺清陵ＲＣ平成 24 年 5 月 17 日(木)→5 月 20 日(日)春季親睦家族会竜神温泉

にこにこ報告　　SAA 中井 昭宏

タイでの数日間本当に楽しかったです。念願のホアヒンでの奉仕事業大成功おめでとうございました。中野さん、お疲れ様でした。田辺幹事ありがとうございました。　吉川 美幸 会長

タイでは皆様に大変お世話になりました。中野委員長のご尽力に改めて感謝しています。又、吉川会長田辺幹事には、熱中症寸前を助けて頂きました。本当に有難うございます。無事に帰ってこられてよかったぁー！　石田 得子会長エレクト

タイ国際大会にご参加いただいた皆様、本当にご苦労様でした。又、お土産もありがとうございます。　犬伏 幸代会員

開業して４０年になります。まだまだ現役で地域医療に貢献してゆきたいと思っています。　小野 晃範会員

国際大会お疲れ様でした。途中体調不良で皆様には御心配掛けてすみませんでした。今すっかり元気です。ありがとうございました。　貝山 香純会員

国際大会に参加された皆様、お疲れ様でした。創業記念のお祝いありがとうございました。　酒井 誠　会員

国際大会の参加お疲れ様です。お土産を頂いて恐縮です。ありがとうございます。欠席が多くてすみません。　田中 範子会員

中野さん、今回のタイ訪問、本当に有難うございます。お蔭で素晴らしい訪問になりました。　田辺 弘樹 幹事

『5月5日タイ王国ホアヒンにおける国際奉仕活動についての報告』
中野 一郎 奉仕プロジェクト委員長

今年度の堺フェニックス RC の国際奉仕活動はタイ 3350 地区、ルンピニ RC(海外姉妹クラブ)提唱による識字率向上の為の図書支援を行なうことなり、対象となるホアヒンの Pah Deng 地方にある Baan Pah Deng School に 5 月 6 日より開催される国際大会参加を兼ねて視察及び贈呈式典参加の為、5 月 5 日の子供の日にあわせて現地を訪問致しました。

バンコクから南西に約 250 キロ離れたミャンマー国境近くの同校はタイの子供たち約 500 名ミャンマー人のカレン族の子供たちが約 100 名が通う山あいにある小さな小学校です。

昨年度においては同小学校に対し、WCS 活動としてルンピニ RC, 堺フェニックス RC, 鈴鹿西 RC, 藤井寺しゅら RC の 4 クラブにてクリーンウォータープロジェクトを展開し生徒たちか安心して飲める水浄化施設が完成しております。

生活していく上での必要最低限の条件である安全な水が確保されたので今回は低い(特にミャンマーの子供たち)識字率を向上させ勉強してもらい子供たちの未来をより明るいものに変えたいとの思いで図書支援を計画致しました。

当初は 70 平米程度の図書館を建設寄贈してほしいとのリクエストでしたが建設物は地区補助金の非対称項目のため、ルンピニ RC が全面的に負担し更に堺フェニックス

RC が一部負担して訪問にあわせての完成となりました。せっかく立派な施設が完成しても、肝心の図書が不足するようでは何の意味もなく、今回当地区からは当プロジェクトの図書支援に藤井寺しゅら RC, 泉南 RC, E-クラブサンライズの 3 クラブから賛同協力頂きました。

まずは視察前日の 5 月 4 日にルンピニ RC から招待を受け、中華料理レストランにて夕食。
親睦を深めると共に翌日のタイムスケジュールの確認作業を致しました。

5 月 5 日　ホリデイインバンコクシーロムのロビーにて早朝 6 時 30 分集合し大型バスに乗り込みルンピニ RC の会員、米田 PDG, 吉川会長、フェニックス会員、2640 地区からの会員ロータリーファミリーを含め総勢約 30 名が現地小学校へと向かいました。
バンコク市内を抜けアジアハイウェイ 2 号線を南下すること 2 時間、ホアヒン中心部に入る少し手前でミャンマー方面へと西に進路を変え自然保護区のある山間部道中では野生の猿の群れの出迎えを受け約 3 時間をかけて目的の小学校に到着しました。

学校関係者、県教育機関関係者、地元住民そして子供たちの歓迎を受け完成した図書施設を見学すると想像していたものよりかなり立派な施設となっており驚きました。施設入り口には、堺フェニックス、ルンピニ RC のプレートが飾られ施設内には今回協力頂いた藤井寺しゅら、泉南、E クラブの 3RC のクラブ名の表示板が掲げられておりました。こちらからの連絡が悪かったのか FUJIIDERA　SHURA のはずが FUJIIDERA　SURA となっており失礼した事をお詫びします。

竣工式典に先立ち、同施設内で堺フェニックス RC とルンピニ RC の姉妹締結際調印が現地の方々、2640 地区会員の見守る中、米田 PDG 立会いのもと行なわれました。
　竣工式典では僧侶が 9 人立会い、サンスクリット語(梵語)で教を唱え施設の完成を祝うと言う形で挙行されましたが、驚いたのは 9 人の僧侶が正面で教を唱える最中に私の後ろからも教が聞こえ　振り返るとしゅら RC の細木会員が梵語で同様に教を唱えていたことでした。細木会員の職業分類は仏教ですので当然かも知れませんが・・

教の最後には、参列者全員高僧から聖水をかけられお払いを頂戴しましたが、結構な量を頂戴し服がびしょ濡れになったのもご愛嬌でしょうか。

セレモニーは民族衣装を纏ったカレン族の子供たちの踊りが披露されその後米田 PDG, 吉川会長、ルンピニ RC の ROTE 会長のスピーチ、校長先生、県教育機関代表のお礼の言葉という形で進行されました。

施設の完成を祝いテープカットや、植樹セレモニーも行なわれ参加者皆が感激した次第です。

記念植樹は施設正面右側から、ルンピニ RC の木、堺フェニックス RC の木、藤井寺しゅら RC の木、泉南及び E クラブの木という順に苗木が植えられており参加メンバーは各々の木に水を注ぎました。近くなるか遠い将来になるかは解りませんが、次にこの学校に訪れ機会があるならば、子供たち同様にきっと大きく育っている事を期待します。

又、参加メンバーは各自各々に用意した日本からのお土産を先生方に託しました。
鉛筆、消しゴム、日本の絵本、色紙、沢山のお菓子、キャラクターシール等々・・・
中には今回参加出来なかった会員からお預かりした物も沢山ありました。

昼食は学校内の食堂(トタン屋根のオープンスペース)にて虫と格闘しながら関係者全員揃って美味しく頂きました。その場で 2640 地区参加クラブ会員とルンピニ RC のバナー交換、支援金の贈呈も行なわれ今回の視察訪問の行事もほぼ終了となり最後に昨年同校に寄贈した水浄化装置を見学し、地元の方々の見送りを受け名残を惜しみつつも我々を乗せたバスはバンコクへと帰路を急ぎました。

道中の自然保護区では突然に野生のアジア象が１頭、森から出てきてまるでお見送りに来たかの様にすぐに又、ゆっくりと森林へと消えて行きました。
おそらくは雄と思われるその象は動物園やアユタヤの観光地で見るものとは違い、黒く美しい体躯に真っ白に伸びた２本の牙が印象的でした。タイでは神の使いと伝えられ、又ヒンズゥー教にはガネーシャと言われる象の神様がいますが我々が出会ったその象は神々しくまさにそのものであり、今回の活動を祝福するかのように感じました。

夕刻、5時30分にバンコクへと無事到着しその後は市内にあるチュラロンコーン大学構内でルンピニ RC 主催のパーティーに参加者全員が招かれ晩餐会となりました。
同校はロータリー財団のロータリー平和センターが設けられており世界平和フェロー奨学生が学ぶ大学として有名です。
当地区以外からも、ルンピニRC姉妹クラブの鈴鹿西RC,アメリカのクラブの方々など多数の参加があり、又、青少年交換でお世話した学生も成長した姿を見せてくれました。
美味しい料理とお酒のせいもあり参加者皆が親交を深めることが出来ました。

早朝より夜遅くまでの強行スケジュールではありましたが、皆さんの一生に残る思い出となる１日であったのではと確信しております。
世界平和、国際理解の核となる国際奉仕プログラムは世界のグローバル化により今後益々重要性を帯びてきます。
今回の活動を通じて少しでも皆様に感じて頂けたならば幸いです。
結びに、今回のプロジェクトにご協力、ご支援賜りましたすべての方々に感謝申し上げます。
コープクン　カップ(ありがとう)
報告　文責　堺フェニックスロータリークラブ　奉仕プロジェクト委員長　中野　一郎

今回のホアヒン訪問会員
　米田　眞理子 PDG(堺フェニックス)　迫田　洋 AG(りんくう泉佐野)及び奥様
　汐崎　まこと AG(新宮)　豊澤　洋太郎、豊澤たつみ(E-Club Sunrise of Japan)
　細木　博､久志本　東(藤井寺しゅら)　八田　真弓(りんくう泉佐野)
　雑賀　鈴夫(御坊東)　吉川　美幸　堺フェニックス会長
　堺フェニックス会員及びファミリー　16名
賛同協力クラブ
　藤井寺しゅらRC,泉南RC、E―Club Sunrise of　Japan

国際大会in バンコクに参加して

パストガバナー　米田　眞理子

国際大会に堺フェニックスＲＣから過去最高数の参加者がありました。吉川会長、田辺幹事をはじめ石田会長エレクト、小林会員、河野御夫妻、京谷会員、中井昭宏会員、中井崇嗣会員、中野会員、小野会員、岡田会員、田中真琴会員、同社員、上田会員、貝山会員、内藤会員、米田、事務局盛岡（敬称略）１９名です。（参考に国際大会 in シンガポールは１８名でした。）到着・発着はさまざまで、４日はルンピニＲＣ歓迎夕食事会、５日はミャンマー国境付近で学校への図書設備寄贈、ＷＣＳ視察、歓迎昼食会、夕食はルンピニＲＣ・鈴鹿西ＲＣ・堺フェニックスＲＣ・りんくう泉佐野ＲＣ・藤井寺しゅらＲＣ・Ｅクラブ和歌山サンライズ of ジャパンの合同例会で賑わいました。

６日は、堺フラワーＲＣ・泉州ＫＵＭＡＴＯＲＩＲＣ・河内長野ＲＣ参加有志の合同昼食例会に招待されました。その後、国際大会開会式に参加、友愛の広場で世界のロータリアンと交流を深め、夕方からジャパンナイト（大澤ＤＧのご苦労様会）驚き！の１２５名の参加、近年にない、稀有な多数の参加人数です。ルンピニＲＣからは１７名もの参加があり、大いに盛り上げて下さいました。友情はいつまでたっても良いものですね。私は、思わぬサプライズ企画から、４０年ぶりに、琴を演奏することになり、河内長野ＲＣ有志の皆様の応援で、何とか日本から琴を２棹運び出し、ロータリアン菊伊祇先生の助けを得て、「瀬戸の春」と言う春の女神をたたえる高貴な曲の合奏を終えました。

往路は一番先に出発させていただいたので、帰路は堺フェニックスＲＣの皆様とご一緒にと考えておりましたところ、ビジネスＣなので琴を持って帰る役目になり、大きなお荷物がついて回りました。小野先生、上田先生には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。日々の食事会、国際大会での皆様との再会、そして買い物にと、連休で仕事も休みでもあり最高に充実した日々でありました。姉妹クラブのあるタイは最高です。皆様！ありがとうございました。次年度は６月ポルトガルです。

国境のゾウ
～パーディン村村長との会話の中で

小林　雄志

村の小学校図書館の竣工式では、村長にも挨拶をして頂いた。その式典終了後、私は村長にタイ語で話しかけてみた。赤を基調とした民族衣装をまとった村長はおそらく五十歳後半か。私の経験からすると、タイの田舎の人は、概して実年齢より老けて見えがちだ。強い紫外線がそうさせるのか、彼らのこれまでの苦労がそうさせるのか…村長も深い皺を額に刻み、その手は荒れてゴツゴツ荒々しい。彼も実年齢より随分年上に見えるタイプだ。

しかし、口調は人柄同様に穏やかそのもの。地方訛りの少ない標準タイ語を話すので、外国人としてタイ語を解する私にはとても聞き取りやすい。

「私は大阪府の議員をしています。先ほどの話では、小学生 620 名のうち 100 名ほどがミャンマーからの避難民の子供ということだが…」

私の質問に村長は大きく頷く。

「ええ、そうです。彼らの家族は隣国ミャンマーから山を越えてタイ王国に来ました。私もその一人です」

このパーディン村は、タイ・ミャンマーの国境から 10 キロも離れていない山麓の原野の中にある。ちなみに村の名前はタイ語で『原野の家』という意味だ。

「逃れてきた者の子供のうち、50 名ほどを私は今も気にかけて世話しています」

村長は誇るでもなく、静かに話を続ける。

「ミャンマーからこのタイに逃れてきて、一番うれしかったのはなんだと思う？」

考えたものの、私は答えが思い浮かばない。

「それは、住民登録してもらえたこと。我々はタイに来て、初めて住民登録をしてもらえたのです。ミャンマーではなかったのです」

これによって、住民は医療も受けられ、学校に子供たちを通わすことも出来、住居も確保出来るようになったという。

「タイ王国政府には本当によくしてもらっています」

日本では従来の社会保障制度が破たん寸前であり、国民から不満を通り越して怒りが噴出している。それでも我々は今でも、学校に病院や学校にも行けるし、様々な福祉制度の恩恵に預かっている。しかし、村長の祖国においては、その社会保障制度の前提となる住民登録さえ、なされていない人々がいるのだ。

「いつか、いやそう遠くない将来に、ミャンマーもいい国、豊かな国になりますよ」

そう答えるのが必死だった私に村長はかすかに微笑みながら頷いた。

タイ・ミャンマー国境の秘境ともいえる村には野生のゾウが生息していると村人から聞いた。バンコクへの帰路、我々はそんな野生のゾウに偶然遭遇した。親子か┆大きな２匹の後ろに小さな１匹がついて草を食べている┆そのゾウ達を見て、村長が最後に話した言葉を思い出した。

「ゾウには国境はありません。タイのバナナを食べることもできれば、歩いて山を越えれば、ミャンマーの草も食べられる。我々人間と違って、自由に国境を行き来できるのですから」

ミャンマーからタイへ移った村民は『人間として当たり前の生活をする』という果実を得たものの、『帰るべき故郷』を失った。

やがて、『原野』という名の村に大粒の雨が降り注いできた…

クラブカウンセラーへの第１回オリエンテーション

次年度新世代奉仕委員会副委員長　貝山香純

５月１３日エレンのクラブ青少年交換カウンセラーを仰せつかっている内藤絵梨奈会員、私貝山香純はりんくう国際物流センターにて開催された長期受入学生、長期派遣候補生、短期派遣学生、クラブカウンセラー対象のオリエンテーションに参加しました。

『カウンセラーへの指針』『ホストファミリーへの指針』の冊子を用いて、茂野地区青少年交換委員会委員長、豊岡委員より受け入れに際しての注意、必要な書類、禁止事項、虐待とハラスメント予防に関する地区およびクラブの方針等説明がありました。その後派遣候補生より留学してしたい事等発表がありました。具体的な夢、したい事をたくさん用意していくこと、母国を含め諸外国の理解と親善が留学に対し重要である事を私も学ぶことができました。エレン含め４名の長期受入学生からは日本で経験した事。エレンはかわいい浴衣を着た事、奈良の鹿に鞄をかじられびっくりした事、カラオケを堪能した事を、他の学生からは生玉子、刺身を食べられる鮮度の良さに感動した事、高校に制服がある事、日本舞踊を習っている事等、私たちが日々何気なく過ごしている日本文化について発表していました。日本文化を再確認する機会となりました。また今回のカウンセラーオリエンテーションに参加し気づき、学びも多くありました。それを生かしてエレンの残りの留学に不自由等なく有意義なものになるよう努めたいです。